

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

YAMAHA CDX-100000



取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。



このたびは、YAMAHAコンパクトディスクプレーヤ
 CDX-10000 をお買い求めいただきまして、まことにありが
 とうございました。CDX-10000 の優れた性能を十分に発揮させ、
 末長くご愛用いただくために、この取扱説明書を、ご使用前
 にぜひお読みくださいますよう、お願い申し上げます。
 また、お読みになりました後も保証書とともに、大切に保管し
 てください。

目次

特長	2
ご使用前に	3
リモコンユニット	4
コンパクトディスクの取り扱い	6
接続	7
各部の名称と機能	9
基本的な演奏	15
早送り・早戻し	18
選曲	19
プログラム演奏	21
テリートプログラム演奏	24
インデックス演奏	25
リピート演奏	26
ランダム演奏	28
スペースインサート	28
タイマー演奏	29
特性図	30
ブロックダイアグラム	31
故障と思われるときには	32
参考仕様	33
使用上のご注意	34



1. CDの極限性能というべきSN比115dB、ダイナミックレンジ100dB、歪率0.002%を実現したハイビットデジタルCD

- コンパクトディスクの信号を従来のデジタル処理（データ長16ビット、サンプリング周波数44.1kHz）の16倍の分解能で処理（18ビット4倍オーバーサンプリング）することで、量子化エラーレベルを16ビットフォーマットにおける最小分解能以下とし、高性能を実現しています（ハイビットデジタルフィルタ、ハイビットD/Aコンバータ）。
- また、デジタルフィルタが4倍オーバーサンプリングを行なっているため、アナログフィルタには位相・振幅特性の優れた5次ニューアークティブフィルタを使用し、歪みの発生を極小としています。

2. デジタル部とアナログ部を完全分離し、デジタルノイズの混入による音質劣化を完全抑制

- デジタル部とアナログ部を完全分離し、それぞれを重量のあるアルミ押し出し材で2分割しシャーシに独立収納することにより振動の影響を最小限に抑えています。
- さらにデジタル信号をアナログ回路に送る際に、光で信号を伝送するフォトカプラを採用。デジタル部からの干渉を排除するため、電氣的にデジタル部とアナログ部を完全分離しています（フォトアイソレーション&セパレートシート）。
- また電源をデジタル部とアナログ部に分離。それぞれに独立給電する2トランス構成となっています。アナログ部のキーポイントであるD/Aコンバータはシャントレギュレータ電源を搭載し、ノイズのない安定した給電を実現しています。

3. 4モーター搭載によるサイレントメカ

- 世界最高レベルの0.7秒超高速アクセスを可能としたリニアモーター、FGサーボブラシレス・コアレス・ディスクモーター、ディスクローティング用モーター、スタビライザー用モーターの計4個のモーターを搭載。素早くしかも静かなメカニズムです。

4. 「CX-10000」へ直結できるデジタルアウト端子

- サンプリング周波数44.1kHzフォーマットのデジタル出力端子を装備。「CX-10000」にデジタルダイレクトインでき本格的なデジタルオーディオシステムを構成できます。
- また、音質劣化のないデジタルボリュームを搭載。120dBに迫るダイナミックレンジを確保するとともに、0.4dBステップの音量調整を実現。パワーアンプ「MX-10000」への直結もアナログ出力により可能としています。

5. 内部振動を完全にシャットアウトする4分割フローティング構造のクオドラフローティングシャーシ

6. マイコン搭載による多彩な演奏

マイクロコンピュータ搭載により、プログラム演奏、リピート演奏（全曲、一曲、A↔B、プログラム）を始めインテックス演奏、ランダム演奏など、コンパクトディスクに収められている情報を最大限に生かした多彩な演奏を簡単な操作で可能としました。

7. 演奏状態を常に確認できるFLディスプレイ

8桁のディスプレイが演奏中の曲番、プログラム曲番、演奏経過時間、演奏残り時間などをデジタル表示。また、プログラム演奏、リピート演奏、インテックス演奏などの各演奏モードもインジケータが表示しますので、演奏状態を常に確認することができます。さらに、演奏状況が一目でわかるミュージックカレンダー、レーザービックアップのアクセス状況を表示するレーザーアクセスインジケータを装備しました。

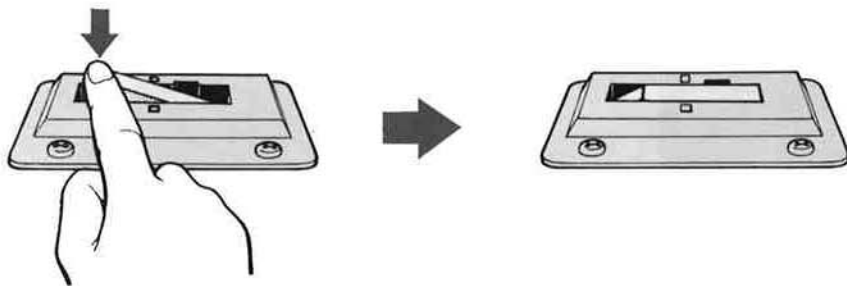
8. リスニングルームで威力を発揮するリモコンユニットを標準装備

付属のリモコンユニットをご使用になれば、リスニングポジションを離れることなくほとんどの機能进行操作できます。さらに、24曲までワンタッチで選曲できるダイレクトキーを装備しました。

ご使用前に

■輸送用ノブについて

本機には、ピックアップ保護のために、底板面に輸送用ノブがついています。
ご使用前に、必ずノブを押してください。



ご注意

操作を始める前に、輸送用ノブをカチッと音がするまで押してください。
再輸送するときは、ノブの反対側を押してもとの位置に戻してください。

結露現象について

冬期などに本機を屋外などから、暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと動作部やピックアップレンズに露がつきます。

露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、電源を入れて1～2時間そのまま放置し本機を室温に保ち、露が消えてから操作してください。

結露と同じ症状は夏期クーラーやエアコンの風が直接当たるところで起きることもあります。その場合には本機の設置場所を変えるか風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

■付属品

付属品は3種類あります。

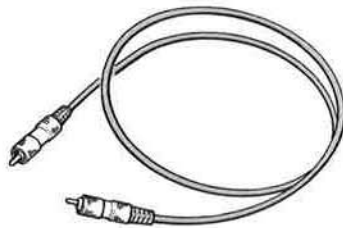
乾電池 単3
(SUM-3) 2本



リモコンユニット
(RS-CDX10000)

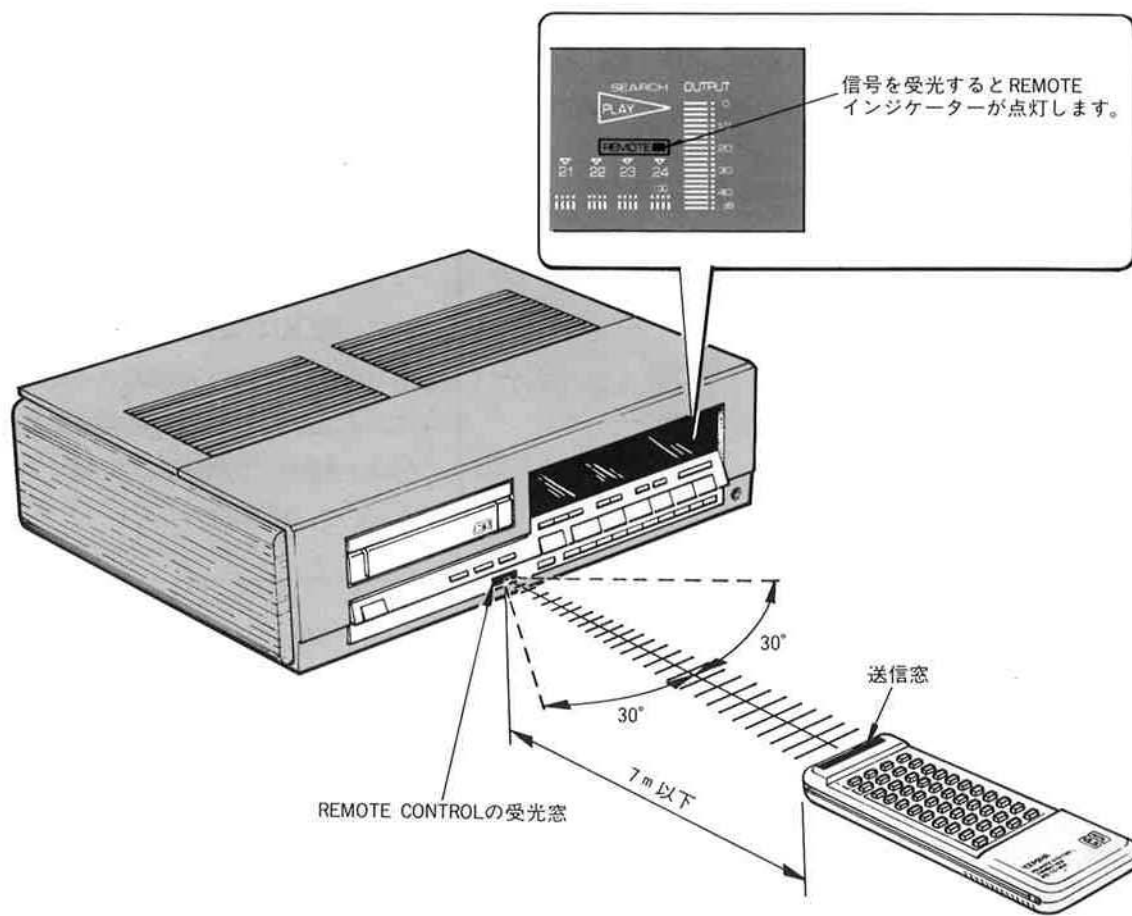


出力コード 3本
(茶色×2、赤色×1)



リモコンユニット

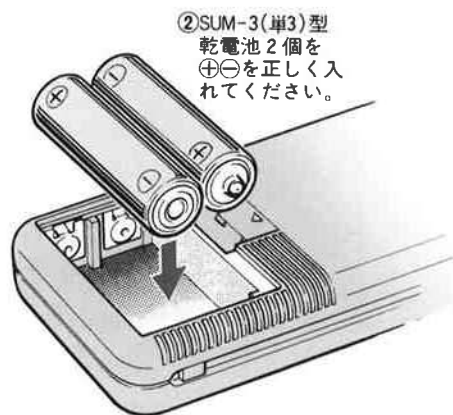
付属のリモコンユニットRS-CDX10000をご使用になりますと、ほとんどの機能が離れた場所から操作できます。
RS-CDX10000は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光窓との角度にご注意ください。



■電池の交換時期

リモコン操作できる距離が短くなったときは電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池と交換してください。
電池がまったく消耗しますと、ボタンを押してもREMOTEインジケータが点灯致しません。

■電池交換



ご注意

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

コンパクトディスクの取り扱い

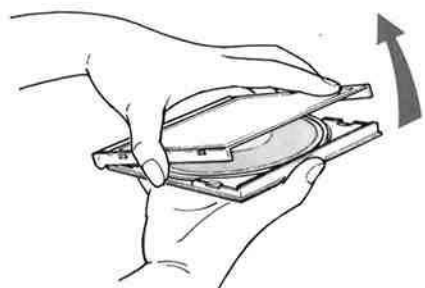
本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤです。



マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

■ケースからの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上側側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でディスクを持ちあげます。

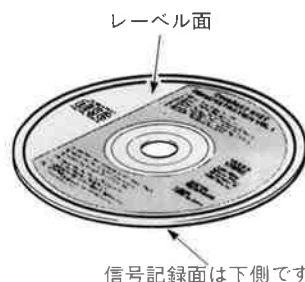


3. できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



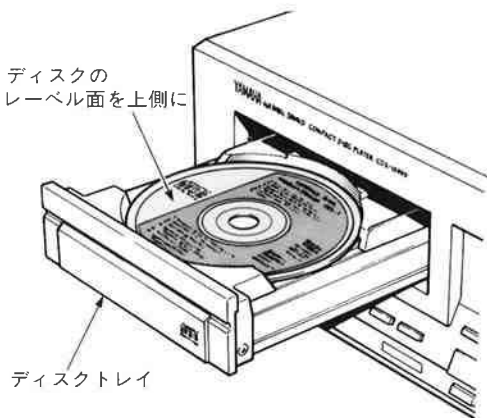
■ディスクのセット

ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(ディスクの演奏は片面だけです)



市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクのレーベル面を上側に



ご注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。
- ディスクを曲げないでください。
- ディスクの表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクはプラスチック製ですので、これらの化学薬品で表面が浸されることがあります。また濡れた布で拭くことも避けてください。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。ディスクを変形させる原因となります。

接続

■接続

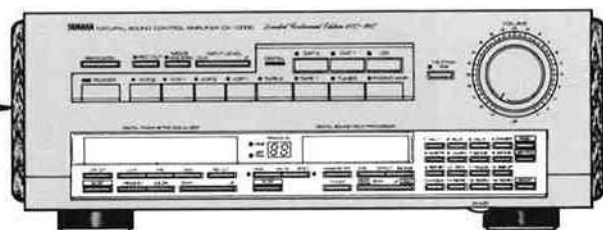
接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して正しく接続してください。

アナログ信号を使用する場合



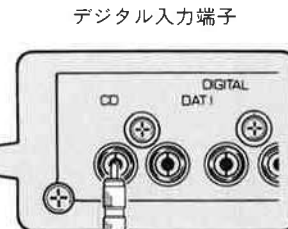
付属の出力コード(茶色)

コントロールアンプまたは、
プリメインアンプ

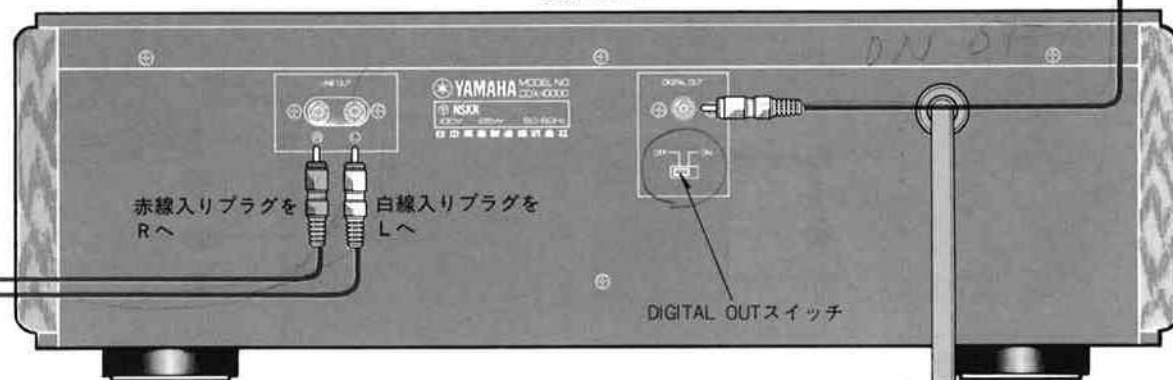


CDX-10000

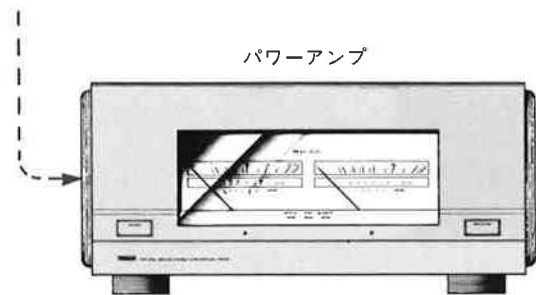
デジタル信号を使用する場合



付属の出力コード(赤色)



パワーアンプ



家庭用電源コンセント
AC100V、50/60Hz

■OUTPUT端子

アナログ信号を出力する端子です。ご使用になるときは、アンプのCD(またはDAD、AUX)端子に、接続してください。これらの端子がない場合はTAPE PB端子に接続してください。

詳細はご使用のアンプの取扱説明書を参照してください。

本端子の出力レベルはフロントパネルOUTPUT LEVELコントロールおよびリモコンユニットのLEVELコントロールにより調整が可能です。他のプログラムソースと音量レベルが合うように調整しておきますと、アンプのボリュームを操作することなく、どのプログラムソースも同じ音量で再生ができます。

またレベルが可変できますので、パワーアンプに直結ができます。

※PHONO端子には絶対接続しないでください。

※本機が、他の機器(チューナーなど)に妨害を与える(ノイズを発生する)ときは、本機との距離を少し離してください。

■DIGITAL OUT端子

デジタル信号を出力する端子です。ご使用になるときは、DIGITAL OUTスイッチをONにしてください。デジタル入力端子を装備したアンプやD/Aコンバーターと接続できます。

接続には、付属の出力コード(赤色)をご使用ください。(デジタル信号は一本のコードでL、R信号が出力されます。)

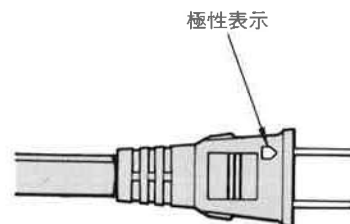
※本端子をご使用にならないときは、必ずDIGITAL OUTスイッチをOFFにしてください。

■電源コードの極性表示

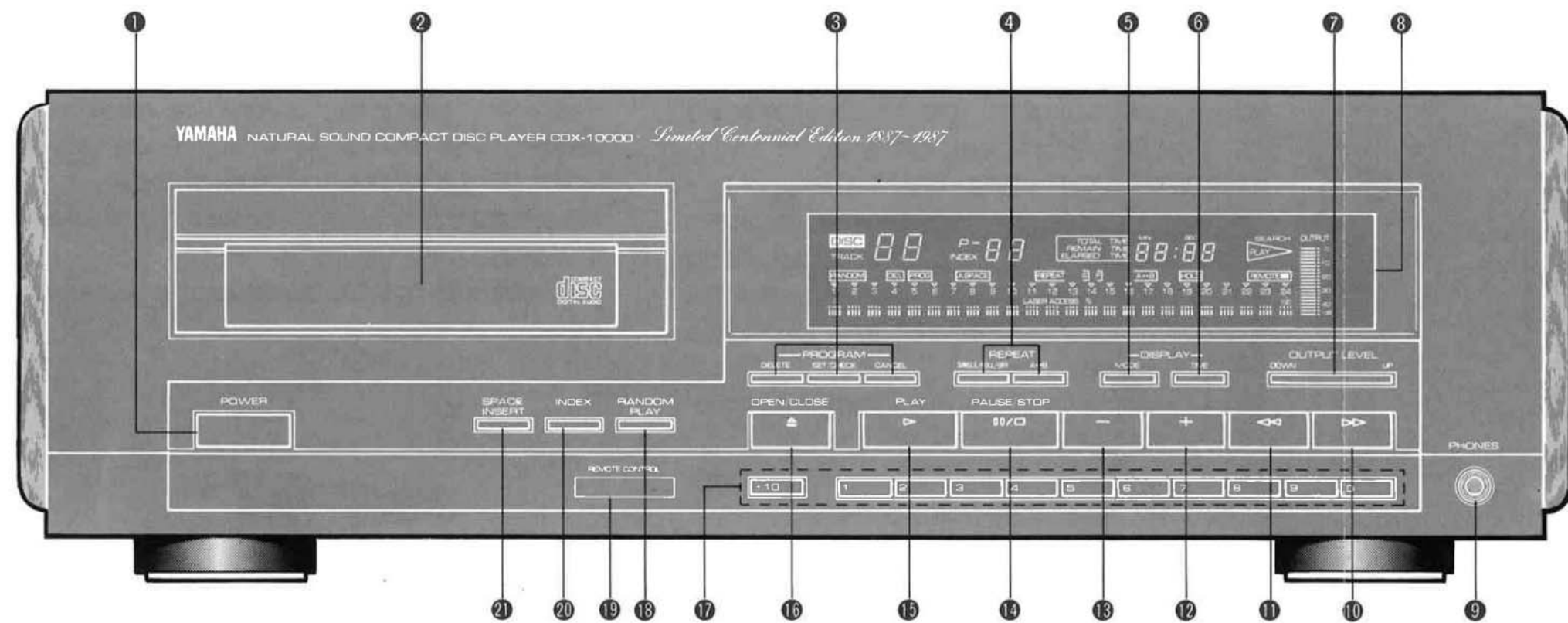
本機の電源コードには、極性表示(電源トランスの巻き始め側を、プラグに“**○**”マークで表示)がなされています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。アンプ等のAC OUTLETに極性表示があれば電源コードの極性の向きを合わせて接続してください。

AC100Vの家庭用コンセントかアンプの補助電源コンセントに接続してください。

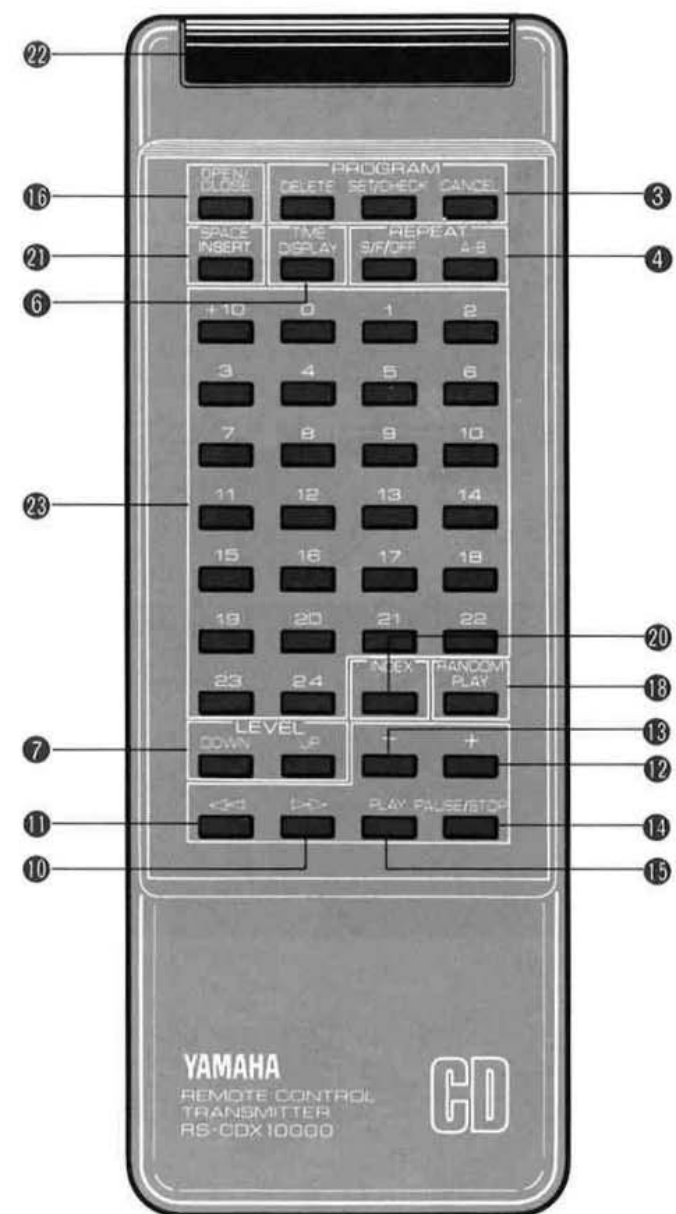
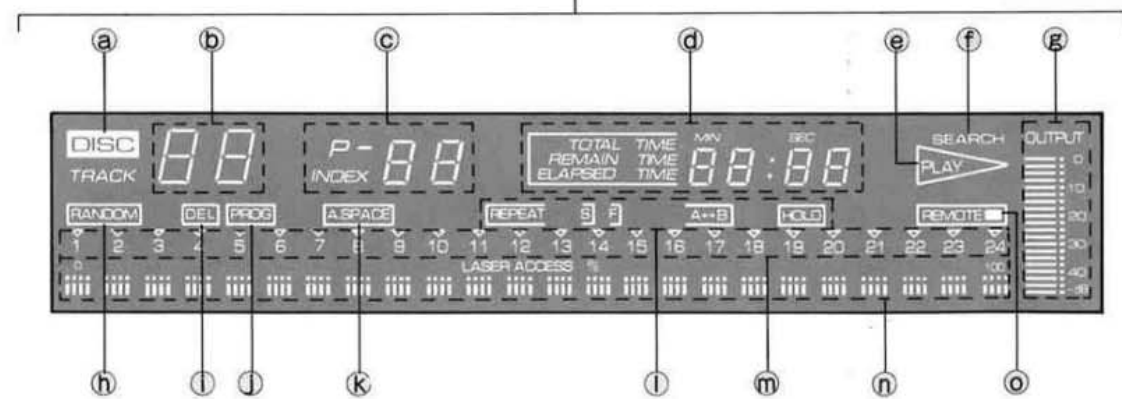
本機の消費電力は25Wです。アンプの補助電源コンセントの供給電力を確認の上、ご使用ください。



各部の名称と機能



⑧ ディスプレイ



①POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。

②ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。

ディスクトレイは手で軽く押しても、PLAYキーを押しても閉じることができません。

※電源がOFFの状態では、ディスクトレイは開閉致しません。

③PROGRAMキー

聴きたい曲をお好みの順番で演奏する(プログラム演奏-P21)ときや、聴きたくない曲を飛ばして演奏する(テリートプログラム演奏-P24)ときに使用します。

DELETE : テリートプログラムをセットするキーです。

SET/CHECK : プログラム演奏のセッティングやチェックをするキーです。

CANCEL : プログラムを一曲ずつ、あるいはすべて削除するキーです。

④REPEATキー

リピート(繰り返し)演奏するときに押します。(リピート演奏-P26)

SINGLE/FULL/OFF.....

一曲リピート、全曲リピート、プログラムリピートのセットと解除およびA↔Bリピートの解除に使用します。

A↔B.....A↔Bリピート(任意の2点間のリピート)演奏のセットに使用します。

⑤DISPLAY MODE切換キー

DISPLAYのモードを切り換えるキーです。押すと曲番と時間表示のみが残ります。もう一度押すと元の表示に戻ります。

⑥DISPLAY TIME切換キー

時間表示のモードを切り換えるキーです。

ELAPSED TIME(演奏経過時間)表示中に一度キーを押すと、表示はREMAIN TIME(演奏残り時間)に変わり、もう一度押すと、TOTAL TIME(総演奏時間)表示に変わります。さらに押しめすと演奏経過時間表示に戻ります。

⑦OUTPUT LEVELコントロール(UP/DOWN)

リアパネルのOUTPUT端子およびヘッドホン端子の出力レベルを調整します。UPキーを押しますと音量は大きくなり、DOWNキーを押しますと小さくなります。

⑧ディスプレイ

㉑DISCインジケータ

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクトレイにディスクが正しくセットされると点灯します。

㉒曲番(TRACK)インジケータ

演奏中やプログラム時に曲番を表示します。

ディスクをセットしてディスクトレイを閉じると、そのディスクに収録されている総曲数を約3秒間表示します。

㉓P-/INDEXインジケータ

プログラム曲番やインデックス番号を表示します。

プログラムセット中は“P-”、インデックスサーチ中は“INDEX”がそれぞれ点滅します。

㉔TOTAL/REMAIN/ELAPSED TIMEインジケータ

TIME DISPLAYスイッチを押すごとに、時間表示がELAPSED TIME(演奏経過時間)、REMAIN TIME(演奏残り時間)、TOTAL TIME(総演奏時間)に変わり、各々の時間を分(MIN)秒(SEC)単位で表示します。

㉕PLAYインジケータ

演奏中は点灯し、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

㉖SEARCHインジケータ

レーザーピックアップが曲をサーチしているときに点灯します。

㉗OUTPUT LEVELインジケータ

リアパネルのOUTPUT端子およびヘッドホン端子の出力レベルを表示します。

㉘RANDOMインジケータ

ランダム演奏中に点灯します。

㉙DELインジケータ

デリートプログラムモードのときに点灯します。

㉚PROGインジケータ

プログラムがセットされているときに点灯します。

㉛A. SPACEインジケータ

スペースインサート時に点灯します。

㉜REPEAT S、F、A↔Bインジケータ

リピート演奏の種類がS(一曲)、F(全曲)またはA↔B(A↔Bリピート)のいずれかであることを表示します。

㉝ミュージックカレンダー

演奏中の曲番やプログラムされている曲番をトラックナンバーとミュージックトライアングルにより表示します。

●1~24(トラックナンバー)

ディスクに収録されている総曲数を点灯表示します。

●▽(ミュージックトライアングル)

ディスクに収録されている曲数と同じ数の▽が点灯し、演奏が終了すると順次消灯します。またプログラムをセットすると▽が点灯しますので、セットミスを防ぐことができます。

例 12曲収録のディスクをセットしたとき



演奏後は消灯します

⑧LASER ACCESSインジケーター

演奏中、レーザーピックアップの位置を総演奏時間に対するパーセンテージで点灯表示します。(点灯する位置は、ディスクにより異なります。)

例 12曲収録のディスクをセットしたとき



点灯します

⑨REMOTEインジケーター

付属のリモコンユニットからの信号を受光すると点灯します。

⑨PHONESジャック

ヘッドホンを接続すれば、アンプを操作しなくても演奏をモニターすることができます。夜間やお一人でCD演奏を楽しむときなどにご利用ください。

⑩▷▷キー

演奏を早送りするキーです。

演奏時 : 音出し早送り。

ポーズ時 : 音無し早送り。

ストップ時 : 変化しません。

※3秒以上押し続けると、高速の早送りとなります。

⑪◀◀キー

演奏を早戻しするキーです。

演奏時 : 音出し早戻し。

ポーズ時 : 音無し早戻し。

ストップ時 : 変化しません。

※3秒以上押し続けると、高速の早戻しとなります。

⑫“+”キー

一曲ずつ次の曲の頭にレーザーピックアップを進めるキーです。

演奏時 : 次の曲の頭から演奏。

ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ。

ストップ時 : 曲番が増えます。

※押し続けると、連続的に曲番が増えます。

⑬“-”キー

演奏またはポーズしている曲の頭にレーザーピックアップを戻すキーです。ELAPSED TIMEが0:02以前の場合は前の曲に、0:03以後では演奏中の曲の頭に戻ります。

演奏時 : その曲の頭から演奏。

ポーズ時 : その曲の頭でポーズ。

ストップ時 : 曲番が戻ります。

2度以上押すと、さらに前の曲の頭に戻ります。

※押し続けると、連続的に前の曲番に戻ります。

⑭PAUSE/STOPキー

演奏中に押すと、その位置でポーズ(一時停止)し、さらにもう一度押すとストップします。

⑮PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

⑯OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。一度押すと開き、さらにもう一度押すと閉まります。

⑰ダイレクトキー(1~0、+10)

曲番やインテックス番号をダイレクトに指定するキーです。

⑱RANDOM PLAYキー

ディスクに収録されている曲を、本機にまかせてランダム(順不同)に演奏するキーです。(ランダム演奏-P28)

⑲REMOTE CONTROL受光窓

リモコンユニットからの信号(赤外線)を受光する窓です。正しく受光すると⑱ディスプレイの⑲REMOTE インジケーターが点灯します。

⑳INDEXキー

インテックス演奏するときに使用するキーです。
(インテックス演奏-P25)

㉑SPACE INSERTキー

スペースインサート機能をON、OFFするキーです。
演奏される曲と曲の間を約3秒間に自動的に整えます。

㉒送信窓(リモコンユニット)

リモコン信号を送信する窓です。

㉓ダイレクトキー(0~24、+10)(リモコンユニット)

0から24まで、そして+10の数字キーです。曲番やインテックス番号をダイレクトに指定することができます。

基本的な演奏

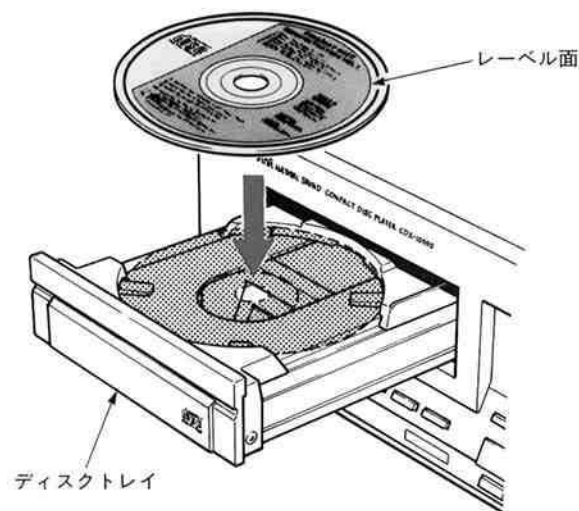
リモコンユニットでも操作できます。

演奏スタートと同時に大音量にならないように、事前にアンプのボリュームを適正レベルに調整してください。

- 1 POWERスイッチを押し、電源を入れます。
- 2 OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開けます。
- 3 ディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。

※レーベル面の反対側が信号記録面です。

(記録面は片面だけです。)



- 4 OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが閉まり、DISCインジケーターが点滅、その後点灯に変わり、そのディスクに収められている総曲数と総演奏時間を約3秒間表示した後、ストップ状態になります。

同時にミュージックカレンダーがディスクに収録されている曲を番号とミュージックトライアングル(▽)で点灯表示します。

また、LASER ACCESSはレーザーピックアップがディスクの曲番1にあることを示す0の位置が点灯します。

※ディスクトレイは手で軽く押すかPLAYキーを押すことによっても、閉じることができます。この場合、ディスクトレイが閉まると自動的に演奏が始まります。

例 総曲数12曲、総演奏時間48分9秒



約3秒後

ストップ状態



※この取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明してあります。

ご注意

ディスクを裏返しにセットするとDISCインジケーターが点滅後消灯しますので正しくセットしなおしてください。

5 PLAYキーを押します。

PLAYインジケータが点灯し、1曲目から最後の曲まで演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示します。また演奏が終了した曲番のミュージックトリアングル(▽)は消灯し、最終曲まで演奏し終わるとストップ状態になります。

※電源を入れるときに、ディスクがディスクトレイにセットされていれば、総曲数、総演奏時間を表示せずただちに演奏が始まります。ディスクトレイをPLAYキーまたは手で押して閉めた場合にも、ただちに演奏が始まります。

例 2曲目の演奏開始後58秒経過



曲番1の▽は消灯します

点灯する位置は、ディスクにより異なります

プレイングバリエーション

●本機はいろいろな演奏をお楽しみいただけます。下記のリストを参考にしてください。

ディスクの始めから終わりまで通して聴きたい	基本的な演奏	P15
ディスクの途中の曲から聴きたい	選曲のしかた	P18
ディスクの中の何曲かだけを聴きたい	プログラム演奏	P21
ディスクの中のある曲を飛ばして聴きたい	デリートプログラム演奏	P24
曲の途中のある楽章(INDEX)から聴きたい	インデックス演奏	P25
ディスクの中のある一曲を繰り返して聴きたい	リピート演奏 一曲リピート	P26
ディスクの始めから終わりまで通して繰り返して聴きたい	リピート演奏 全曲リピート	P27
ディスクのある部分を繰り返して聴きたい	リピート演奏 A↔Bリピート	P27
プログラムした曲を繰り返して聴きたい	リピート演奏	P26
演奏順をCDX-10000にまかせたい	ランダム演奏	P28
ディスクをカセットテープに録音したい	スペースインサート	P28
CD演奏を目覚ましにしたい	タイマー演奏	P29

■演奏を一時停止させるときは

PAUSE/STOPキーを1回押します。

キーを押したところで一時停止(ポーズ)し、PLAYインジケータ
ーが点滅します。

再び演奏を始めるときには、PLAYキーを押してください。

※ポーズ中にもう一度PAUSE/STOPキーを押しますと、ストップ
状態になります。

例 2曲目を演奏中、演奏開始58秒でポーズ



■演奏をストップさせるときは

PAUSE/STOPキーを2回押します。

PLAYインジケータが消え、演奏がストップします。1曲目の頭で
待機状態になります。

■ディスクを取り出すには

OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開けます。

ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

※OPEN/CLOSEキーはPOWERスイッチ以外のすべてのキーに
優先します。

例えば演奏中でもこのキーを押せば演奏がストップしディスクを取
り出すことができます。このような場合にも本体や、ディスクに対
して何らの支障はありません。

ご注意

- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐため、必
ずディスクトレイを閉めておいてください。
- ディスクトレイに不要物などを入れますと故障の原因となりま
す。
- ディスクトレイが動作している間は、手で無理に開閉しないで
ください。
- ディスクにキズなどがあると、演奏開始時間が遅れたり、
途中から演奏することがあります。
- 偏芯したディスクは演奏中に異音を発することがありますので、
ご使用にならないでください。
- 演奏中は本機を動かさないでください。演奏中ディスクは高速
で回転しています。このとき本機を持ち上げたり動かしたり衝
撃を与えたりしますと、ディスクに傷を付ける恐れがあります。
本機を動かす場合には、必ずディスクを取り出してください。

早送り・早戻し

リモコンユニットでも操作できます。

演奏中またはポーズ中には“▶▶”“◀◀”キーを使って、早送り・早戻しすることができます。

演奏中(音出しサーチ)

“▶▶”または“◀◀”キーを押し続けると、最初の3秒間は低速で、その後は高速の早送り・早戻しすることができます。キーを押している間は、再生音を小音量(約1/4)で聴くことができます。指を離れたところから演奏が再開されます。

※“▶▶”キーを押し続けて、最終曲の終わりまでサーチしますと、ストップ状態となります。

ポーズ中(音無しサーチ)

“▶▶”または“◀◀”キーを押しますと早送り・早戻しができますが、ポーズ中に再生音は出ません。

ストップ状態

“▶▶”あるいは“◀◀”キーを押しても、早送り・早戻しは動作致しません。

■ディスプレイについて

TIME DISPLAYキーを押すごとに、表示内容が切り換わります。

ELAPSED TIME (演奏経過時間)

例 2曲目を演奏中、2分35秒経過



REMAIN TIME (演奏残り時間)

例 2曲目を演奏中、演奏終了まで、あと36分2秒



TOTAL TIME (総演奏時間)

例 2曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は48分09秒



※REMAIN TIMEおよびTOTAL TIMEが99分59秒を超えた場合は、100分台を省いて表示されます。

※ストップ時にはELAPSED TIMEおよびREMAIN TIMEは表示されません。

※ランダム演奏中は演奏残り時間は表示されません。

選曲

リモコンユニットでも操作できます。

“+”“−”キーやダイレクトキー(1~0、+10)を使って、簡単にディスクの中の聴きたい曲を選曲することができます。

■演奏を開始する前、および演奏中の選曲

“+”キー……キーを押すごとに次の曲に移ります。押し続けると連続的に変化し、最終曲で止まります。

“−”キー……キーを押すごとに前の曲の頭に戻ります（演奏中は、まずその曲の頭に戻ります）。押し続けると曲番1まで連続的に変化します。

ダイレクトキー(1~0、+10)……ダイレクトに選曲することができます。演奏したい曲の番号を押します。

※ダイレクトキーでディスクに収録されている曲数より大きな番号を指定した場合は、自動的に最終曲番がディスプレイに表示されます。

※選曲はディスクトレイが開いた状態でも行なうことができます。

※ダイレクトキーで選曲した場合には、ただちに演奏が始まります。

例 曲番3を演奏中に、曲番6を演奏するとき

ダイレクトキーの6を押します。“+”キーを3回押ししても曲番6の選曲となります。



※演奏中に選曲を行った場合は、選曲後にその曲を自動的に演奏します。

※ポーズ中に選曲を行った場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態となります。

■現在演奏している曲の頭に戻るとき

“−”キー……“−”キーを1回押します。

ダイレクトキー(1~0、+10)……演奏している曲の番号を押します。

例 曲番3を演奏中に、曲番3を再度演奏しなおすとき

“−”キーまたはダイレクトキーの3を押します。曲番3の頭に戻り再び演奏が始まります。



ダイレクトキー(1~0、+10キー)の操作について

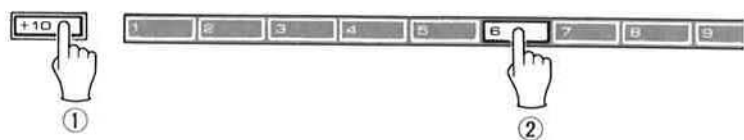
曲番10以上の曲を選曲する場合には、+10キーを使用します。+10キーを押しますと、1_が表示されます。その後に1の位の番号を押してください。

例 本体のダイレクトキーで曲番26を選曲する場合

①+10キーを2回押します。

②6キーを押します。

曲番26から演奏が始まります。

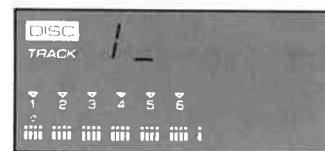


例 リモコンユニットのダイレクトキーで曲番34を選曲する場合

①+10キーを押します。

②24キーを押します。

曲番34から演奏が始まります。



※+10キーを押した場合には1の位が入力されるまで、その状態が維持されず。

※ストップ状態や、ディスクトレイが開いた状態で+10キーを押し、1の位を入力しないままPLAYキーを押しますと1曲目からの演奏となります。

プログラム演奏

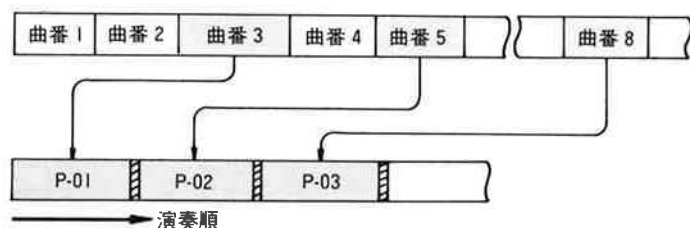
リモコンユニットでも操作できます。

ディスクの中から任意の曲を選び、ご希望の順番に並び替えて演奏することができます。

※最大24曲までプログラムできます。

■プログラムのセットのしかた

例 曲番3、5、8の順でプログラムするには



1 PROGRAMのSET/CHECKキーを押します。

ディスプレイにP-01の表示が出て、プログラム1にプログラムが可能であることを示します。また“P-”インジケータが点滅します。

※“P-”インジケータが点滅したまま約10秒間放置しますと、プログラムセット状態は解除されます。



2 ご希望の曲番をダイレクトキーで選択します。 この場合は3です。

曲番3のミュージックトライアングルマを残して、他の曲のマが消灯します。



3 再びご希望の曲番を選択します。

この場合は5です。

曲番5のミュージックトライアングルマが点灯します。



4 再びご希望の曲番を選択します。

この場合は8です。

曲番8のミュージックトライアングルマが点灯します。

※プログラムは、合計24曲までセットしますと、自動的にP-01に戻り演奏スタンバイ状態になります。



5 プログラムを演奏します。

PLAYキーを押しますとプログラムされた曲順で演奏が始まります。



※ご希望の曲がすべてセットされたかどうか、ミュージックカレンダーで確認することができます。

※プログラムの演奏が終了しますと、自動的にP-01に戻り、演奏スタンバイ状態になります。

※TIME DISPLAYキーを押してTOTAL TIME表示にしますとプログラムの総演奏時間が表示されますので、カセットテープなどに録音するときにご利用いただけます。

■プログラム演奏中の選曲操作

プログラム演奏中に“+”または“-”キーを押しますと、プログラムされている順番で前後の頭出しができます。またダイレクトキーをお使いになりますと、プログラムされていない曲の頭出しができます。この場合は1曲演奏が終了しますと、もとのプログラムに戻ります。

■プログラムのチェック

ストップ状態にしてSET/CHECKキーを押しますと、P-01のプログラム曲番が表示されます。SET/CHECKキーを押すごとに次々とプログラム曲番が表示されます。

■プログラム演奏中の早送り、早戻し

“>>”または“<<”キーを使いますと、セットされたプログラムに関係なく早送り、早戻しを行ないます。

■プログラム変更のしかた

1 変更したいプログラム番号をSET/CHECKキーを押して、ディスプレイに表示します。

2 “P-”インジケーターが点滅している間に、ダイレクトキーで新しい曲番を選びセットし直します。

前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。

例 P-02、曲番5を曲番1に変更するには
SET/CHECKキーを押します。



ダイレクトキーの1を押します。

これでプログラム変更は完了しました。



点灯します 消灯します

※インテックス(インテックス演奏-P25)のプログラム演奏はできません。

※プログラムの総演奏時間が99分59秒を越えた場合のTOTAL TIMEとREMAIN TIMEは100分台の数字を省いて表示されます。

※プログラム演奏で曲番が24以上の曲をプログラムしたときは、REMAIN TIME、TOTAL TIMEは表示されません。

■プログラムの部分削除のしかた

1 削除したいプログラム番号をSET/CHECKキーを押して、ディスプレイに表示します。

2 “P-”インジケーターが点滅していることを確認し、CANCELキーを押します。その曲はキャンセルされ、次の曲がそのプログラムに繰り上がって入ります。

例 P-02、曲番5をキャンセルすると

	P-01	P-02	P-03
キャンセル前の曲番	3	5	8
キャンセル後の曲番	3	8	←

■プログラムの解除のしかた

すべてのプログラムを解除するにはストップ状態で、CANCELキーを押すかディスプレイを開けるかの2通りの方法があります。また一度電源を切りますと、すべてのプログラムが解除されます。

デリートプログラム演奏

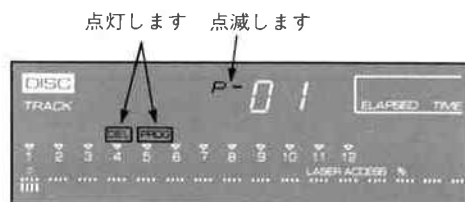
リモコンユニットでも操作できます。

ディスクに収録されている任意の曲を飛ばして演奏することができます。



1 DELETEキーを押し、次にSET/CHECKキーを押します。

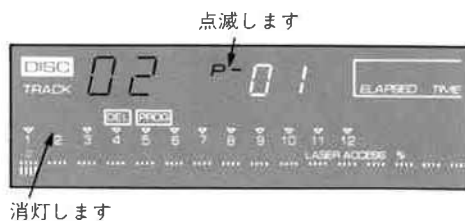
“P-”インジケーターが点滅、P-01にデリートプログラムがセットできることを示します。



2 演奏しない曲番を指定します。

この場合は2です。

P-01に曲番2がセットされ、曲番2のミュージックトライアングル▽が消灯します。



3 再び演奏しない曲番をセットします。

この場合は6です。

P-02に曲番6がセットされ、曲番6のミュージックトライアングル▽が消灯します。



4 デリートプログラムの演奏

PLAYキーを押すと、曲番1から演奏が始まり、曲番2と6を飛ばして順次演奏します。

■デリートプログラムの変更・削除・解除のしかた

デリートプログラムの変更・削除と解除のしかたはプログラムの変更・削除と解除の方法 (P23) と同様です。

※デリートプログラムは再度DELETEキーを押しても解除することができます。

インデックス演奏

リモコンユニットでも操作できます。

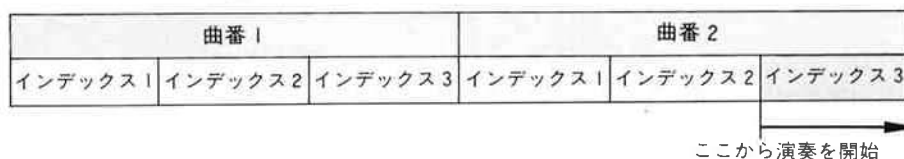
長時間の演奏が収録されているディスク、例えばクラシックには、楽章ごとにインデックス番号が設定されているものがあります。そのようなディスクには、インデックス番号を指定することにより、曲の途中から演奏を開始することができます。

※インデックス番号が記録されているディスクには「IN:DEX」マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。

※インデックス番号が記録されているディスクを演奏中は、ディスプレイにインデックス番号が自動的に表示されます。

※インデックス演奏は、まず曲番を指定した後にインデックスキーを押し、インデックスインジケータが点滅していることを確認してからインデックス番号を指定してください。

例 曲番2のインデックス3を聴くには



1 ダイレクトキーを押し、曲番を指定します。

この場合は2です。ダイレクトキーの2を押すと曲番2の演奏が始まります。



2 INDEXキーを押します。

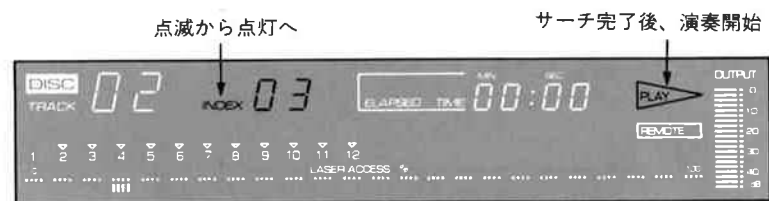
ディスプレイのINDEXが点滅し、インデックス指定モードになります。



3 ダイレクトキーで、演奏を始めたいインデックス番号を指定します。

この場合は3です。

インデックスのサーチが完了しますとINDEXインジケータが点滅から点灯に変わり、演奏が始まります。



リピート演奏

リモコンユニットでも操作できます。

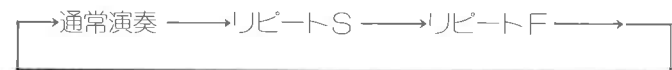
■インテックスの解除

ストップ状態のときに、インテックス指定モードのまま（INDEX インジケーター点滅中）、PLAYキーを押して演奏をスタートさせた場合は、その曲の演奏が開始するとともにインジケーターは点灯に変わりインテックス指定モードは解除されます。

- ※インテックス演奏は、指定した箇所の少し前から演奏することがあります。
- ※インテックスの指定モードは演奏が始まると解除されます。
- ※ランダム演奏中にインテックス演奏はできません。
- ※プログラムがセットされているときはインテックス演奏はできません。
- ※ディスクに記録されているインテックス番号より大きな数を指定した場合は、最終インテックス番号から演奏が始まります。
- ※インテックス番号の記録されていないディスクの場合は、インテックス番号01を表示し、指定された曲の頭から演奏します。
- ※インテックス演奏が始まるまでには、多少時間がかかることがあります。

ディスクの全曲、一曲あるいは聴きたい部分だけのリピート（繰り返し）演奏ができます。

REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーは、押すごとにS（シングル：一曲）、F（フル：全曲）、通常演奏（リピート解除）に変わります。

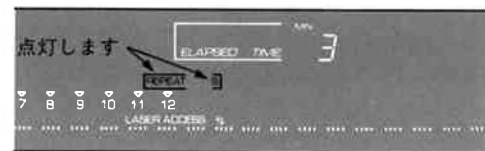


- 一曲リピート：指定した一曲をリピート演奏します。
- 全曲リピート：ディスクの全曲をリピート演奏します。
- A↔Bリピート：任意の2点間をリピートします。

■一曲リピート(REPEAT S)

指定した一曲をリピート演奏します。

- 1 REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押し、ディスプレイにREPEAT Sを点灯させてください。



- 2 ダイレクトキーで繰り返したい曲を選びます。

- ※“+”“-”キーで選曲した場合にはPLAYキーを押します。
- ※プログラム演奏中、テリートプログラム演奏中およびランダム演奏中でも一曲リピートを設定すれば演奏中の曲をリピート演奏できます。
- ※プログラム演奏中に、ダイレクトキーを使ってプログラム曲以外の曲を演奏させた場合は、演奏終了後も再度その曲をリピート演奏できます。

■全曲リピート(REPEAT F)

ディスクに収録されている全曲をリピート演奏します。

- 1 REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押し、ディスプレイにREPEAT Fを点灯させます。



- 2 PLAYキーを押します。

※プログラム演奏、テリートプログラム演奏もリピート演奏することができます。

※ランダム演奏の場合は、一回目のランダム演奏終了後に、新たなランダム演奏を開始します。

一曲、全曲リピート演奏の解除

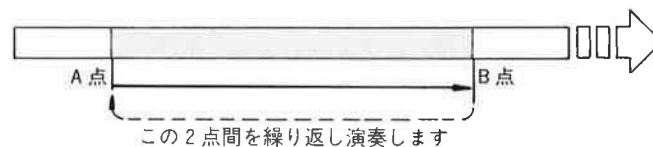
REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押し、REPEAT SまたはREPEAT Fのインジケータを消灯させてください。

ディスプレイを開閉しますとリピート演奏は解除されます。

※一度電源を切りますとリピート演奏は解除されます。

■A↔Bリピート

繰り返し聴きたい2点間をリピート演奏できます。



- 1 演奏中に、リピートさせたい箇所になりましたらREPEAT A↔Bキーを押します。

A点が設定され、REPEAT A↔Bインジケータが点滅します。



- 2 リピートを終えたい箇所になりましたら、再度REPEAT A↔Bキーを押します。

これでB点が設定されました。B点が設定されるとREPEAT A↔Bインジケータが点灯し、同時にA↔Bリピート演奏がスタートします。



A↔Bリピート演奏の解除

REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを一回押しますと、A↔Bリピートは解除されます。

ランダム演奏

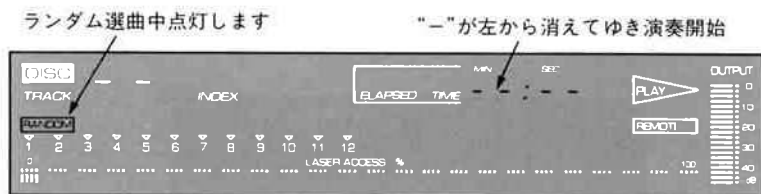
リモコンユニットでも操作できます。

ディスクに収録されている曲を本機が順不同(ランダム)に演奏順を並び換えて演奏します。

ランダム演奏は一度演奏が終了しますと、ストップ状態になります。

■ランダム演奏のしかた

演奏中あるいはストップ状態のときにRANDOM PLAYキーを押してください。ランダム演奏が始まります。



※ランダム演奏は、ランダム演奏中にもう一度RANDOM PLAYキーを押すと解除されます。またダイレクトキーや“+”“-”キーを押しても解除されます。

※プログラムのランダム演奏はできません。

※ランダム演奏中にインテックス演奏はできません。

スペースインサート

リモコンユニットでも操作できます。

曲間が充分ないディスクを、そのままテープに録音してもテープデッキ側でご希望通りに選曲できない場合があります。そのようなときにSPACE INSERTキーを使って曲間に適当なスペースを挿入して録音すればデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

■スペースインサートのしかた

1 録音を始めるまえに、SPACE INSERTキーを押します。ディスプレイにA. SPACEインジケーターが点灯します。



2 PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し、曲間を約3秒間に整えて演奏していきます。

※曲間の3秒間はディスプレイが“-----”の表示となり、順次“-----”印が左から消灯してゆきます。

※録音を開始する前に、TIME DISPLAYキーを使い総演奏時間をチェックしておきますと、録音ミスを防ぐことができます。

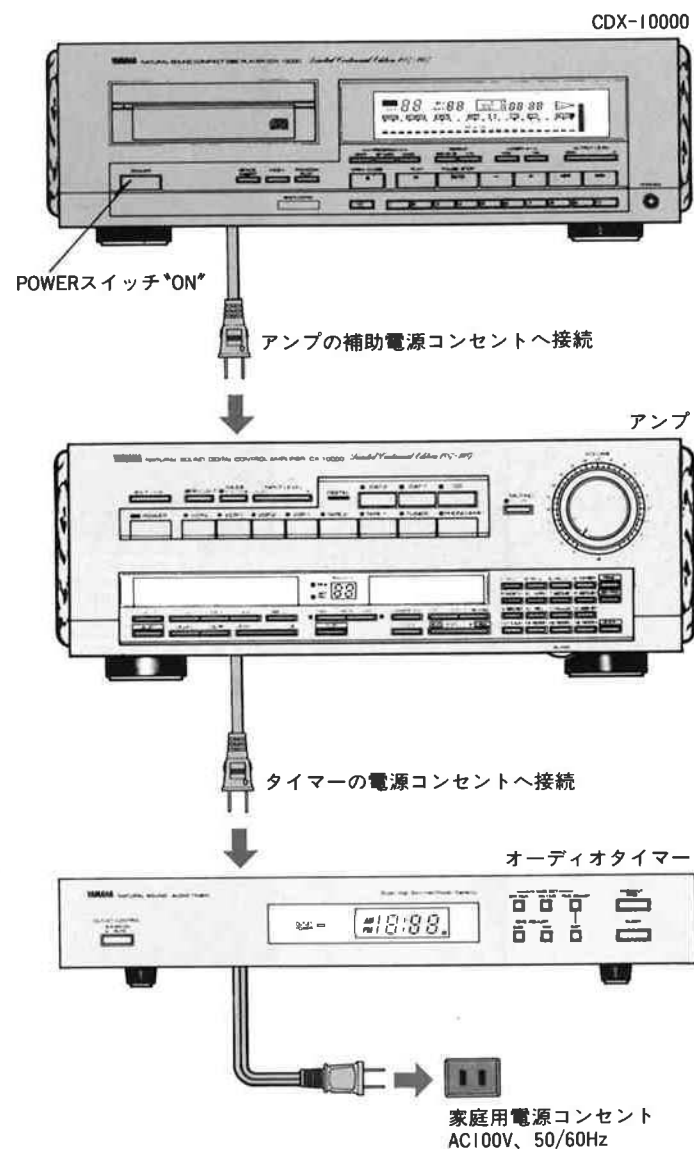
タイマー演奏

別売のオーディオタイマーと組み合わせますと、ご希望の時間に演奏を始めることができ、お好みのディスクで目覚まし再生を行なうことができます。

■タイマー演奏のしかた

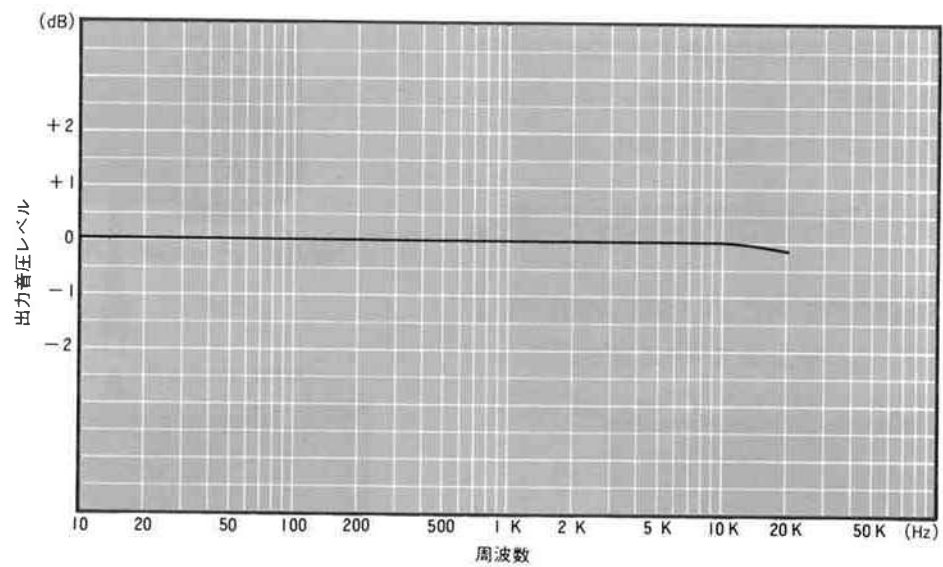
- ①本機の電源プラグをアンプのリアパネルの補助電源コンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーのACコンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてディスクを正しくセットします。
- ④アンプの電源スイッチを入れINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調節します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。
(このとき、各機器の電源が切れたことをお確かめください)
- ⑥タイマーによりセットされた時刻がくると自動的にディスクの曲番1から演奏が始まります。

※タイマーによるプログラム演奏、リピート演奏はできません。

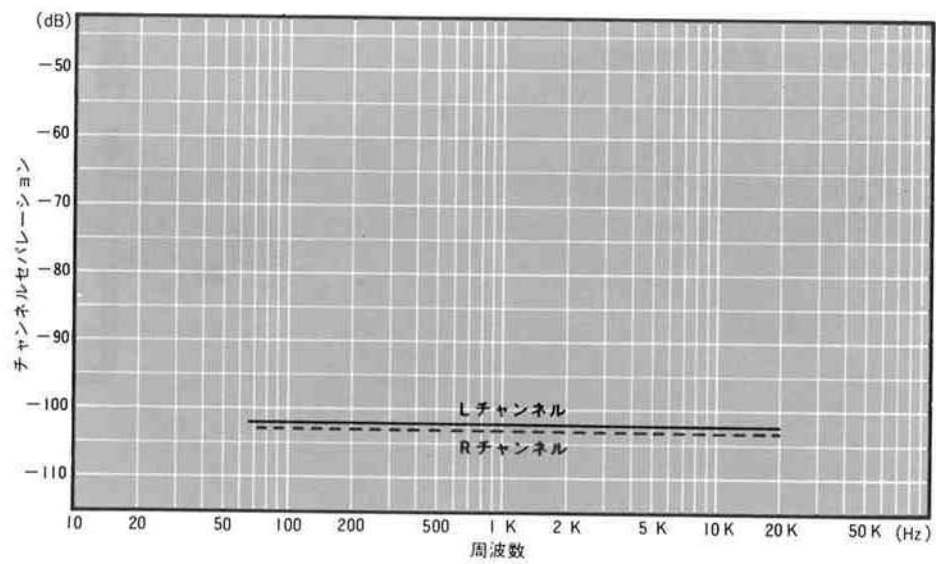


特性図

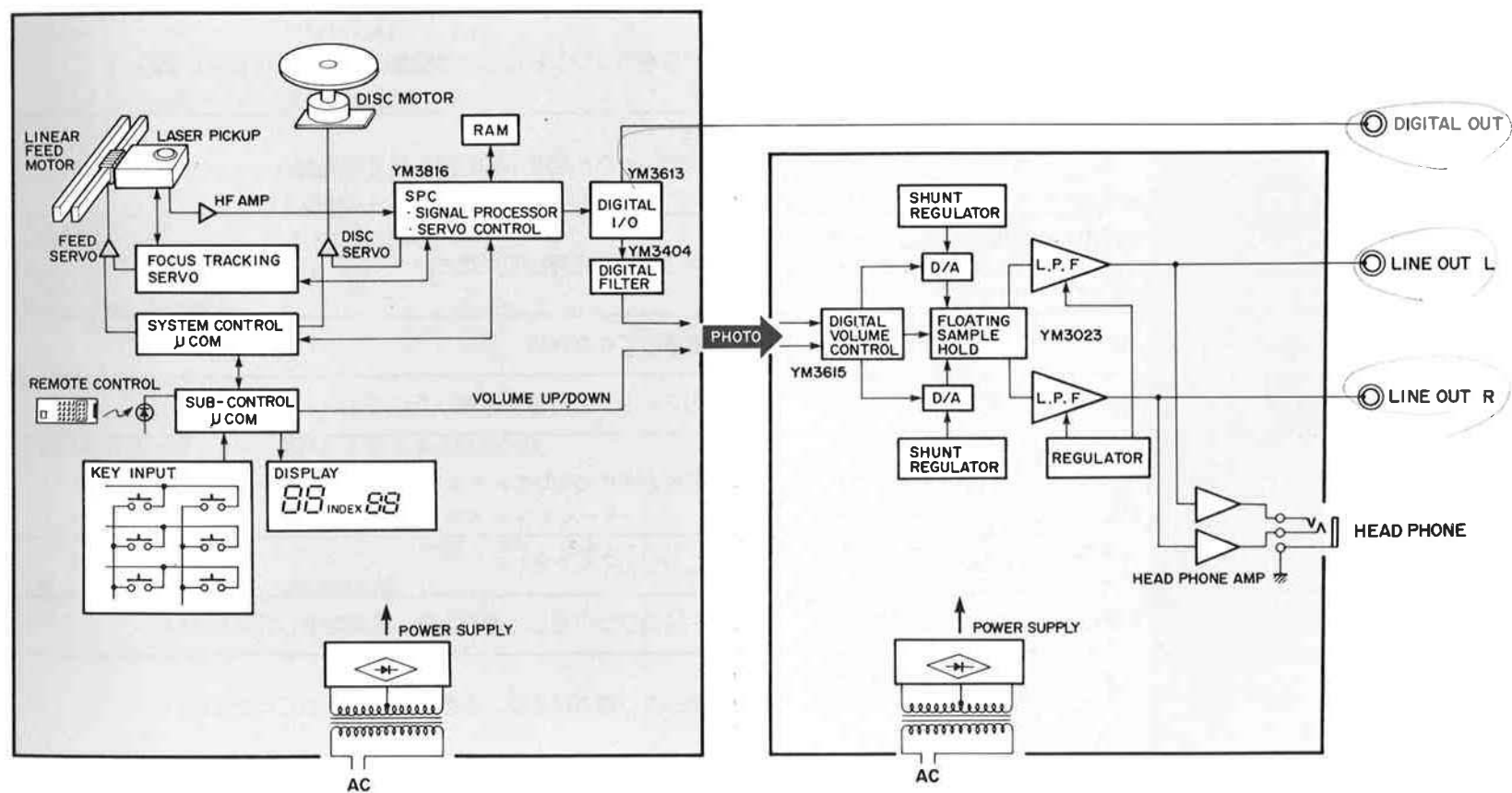
■周波数特性



■チャンネルセパレーション



ブロックダイアグラム



故障と思われるときには

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にして入れてください
	輸送用ノブが輸送状態になっている	輸送用ノブを確実に押してください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	インジケーターが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

型式……………コンパクトディスク・
デジタル・オーディオ・システム

オーディオ特性

周波数特性……………DC~20kHz±0.3dB
ディエンファシス偏差…±0.3dB (EIAJ)
高調波歪率+雑音……………0.002%以下1kHz (EIAJ)
SN比……………115dB (EIAJ)
ダイナミックレンジ……………100dB以上 (EIAJ)
ワウ・フラッター……………測定検知限界以下
チャンネル・
セパレーション……………100dB以上 1kHz (EIAJ)
100dB以上20kHz (EIAJ)
出力電圧……………2±0.1V (EIAJ)
出力インピーダンス……………47Ω
ヘッドホン出力電圧
(150Ω負荷)……………3V

方式

光ピックアップ……………3ビームレーザー
エラー訂正方式……………CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換……………18ビットフローティング(L,Rツイン)
フィルター……………ハイビットデジタルフィルター+
5次ニューアクティブフィルター
ディスプレイ……………蛍光表示管

機能

頭出し……………“+”・“-”キーによる順次頭出し
ダイレクトキーによる頭出し
インデックサーチ……………ダイレクトキーによる指定
音出しサーチ(演奏時)……………“◀◁”・“▷▶”キーによるサーチ
2段階スピード自動切換
ポーズ……………ポーズ/ストップキーを1回押す
ストップ……………ポーズ/ストップキーを2回押す
総演奏時間表示……………TIME DISPLAYキーにて
演奏残り時間表示…………… “ ”
プログラム機能……………24曲ランダム
合計時間表示機能
オートスペース機能……………演奏時、曲間約3秒のスペース
リピート……………1曲、全曲またはプログラム全部のリピート
A↔Bリピート、ランダムプレイリピート
タイマープレイ……………ディスク装着時パワーONで演奏開始

総合

電源……………AC100V 50/60Hz
消費電力……………25W
外形寸法(W×H×D)……………475×157×406(mm)
重量……………25.5kg
付属品……………出力コード × 3
リモコンユニット (RS-CDX10000)
乾電池 単3(SUM-3) × 2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

使用上のご注意

- 次のような場所へは本機を設置しないでください。
 - ◆ 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)は、製品の正常な機能を維持できない場合があります。
 - ◆ 湿度の多い場所(湿度90%以上)は、金属部品にサビを生じたり故障の原因となります。
 - ◆ ホコリの多い場所は、スイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり性能をそこなうことがあります。
 - ◆ その他、トランスやモーターの近くまたは、振動の多い場所への設置は誘導ノイズをひろう原因となります。
- ベンジン、シンナー系の液体および化学ぞうきんの使用や、周囲でのエアゾールタイプの殺虫剤の散布は避けてください。
お手入れは、必ず柔らかい布を使用し、からぶきしてください。
- スイッチやつまみ、コードなどに無理な力を加えることは避けてください。
- 定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。
※本機は、国内電源AC100V±10V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は故障などの原因となりますので、絶対に避けてください。
- 落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。
- 万一本機に雨や花びんなどの水がかかったときは、ただちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れようと、感電の恐れがあり危険です。また故障の原因ともなりますのでご注意ください。
- 本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1～2時間程度放置するか除々に室温を上げてからご使用ください。
- トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れると、故障や感電事故を起こすことがあります。内部に異物が入ったときには、ただちに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- お買い求めいただきました販売店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などの記載がありませんと、保証期間中でもサービスの際に実費をいただくこととなりますのでご注意ください。
- 故障と思われる場合は、まず32ページの「故障と思われるときには」をご覧ください。
- この取扱説明書はお読みにになりました後も、保証書と共に大切に保管してください。

本機を末長く、安心してご愛用頂けるために
サービスのご依頼、お問い合わせは、
お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点に
ご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネル及び保証書に表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内北側 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区王川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新戸屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 ステレオ北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F ステレオ仙台営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F ステレオ首都圏営業所 TEL(03)255-5691 ステレオ神田営業所 TEL(03)255-6767 ステレオ北関東営業所 TEL(03)255-1825 ステレオ東京営業所 TEL(03)255-2302
名古屋	〒464 名古屋市中区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 ステレオ名古屋営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区靱津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 ステレオ関西営業所 TEL(06)647-6411 ステレオ大阪営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよきん広島ビル内 ステレオ中四国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 ステレオ九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 オーディオ事業部 国内営業部 TEL(0534)60-3421

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

オーディオ事業部国内営業部 TEL(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

